

2016年12月9日

ICDAホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

2017年3月期 第2四半期決算説明会



2017年3月期 第2四半期決算概要

- ・新車販売台数 2,234台（前年同期比 5.4%増）
- ・中古車販売台数 4,418台（前年同期比 0.7%増）
- ・既存ユーザーに対する提案型営業活動を強化
- ・新車、中古車販売台数ともに前年比増加

グループ販売台数の推移

（単位：台）

	2016年3月期				2017年3月期			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	上期累計	前年同期比
新車	1,002	1,118	1,116	1,377	1,095	1,139	2,234	5.4%増
中古車	2,067	2,320	2,267	2,867	2,351	2,067	4,418	0.7%増

長期的な営業環境

- ・自動車の保有台数のゆるやかな減少
- ・自動車の乗替えサイクルの長期化
- ・環境対応車の発表により、燃費競争が加速

上期の営業環境

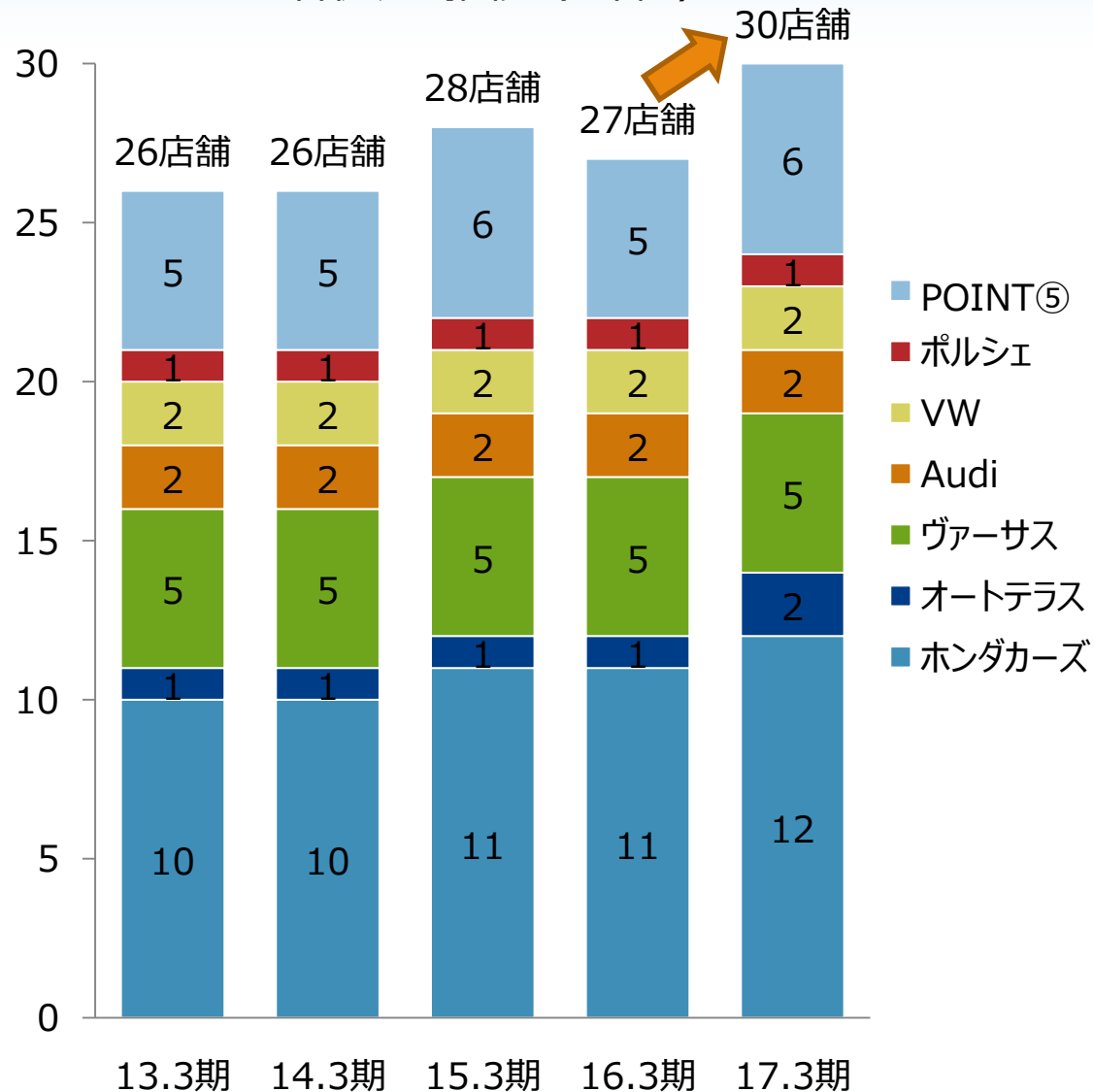
- ・軽自動車の燃費データ不正問題による買い控えが継続
 - ・VWグループのディーゼル車排気ガス不正問題の影響が継続
 - ・鉄・アルミ等の資源価格相場低迷の影響が継続
- (単位：千台)

	2016年3月期				2017年3月期			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	上期累計	前年同期比
国内新車販売台数	1,097	1,231	1,138	1,470	1,077	1,229	2,306	1.0%減
国内中古車登録車台数	901	864	905	1,061	905	893	1,799	1.9%増
輸入車新規登録台数	73	83	78	91	78	89	167	7.2%増

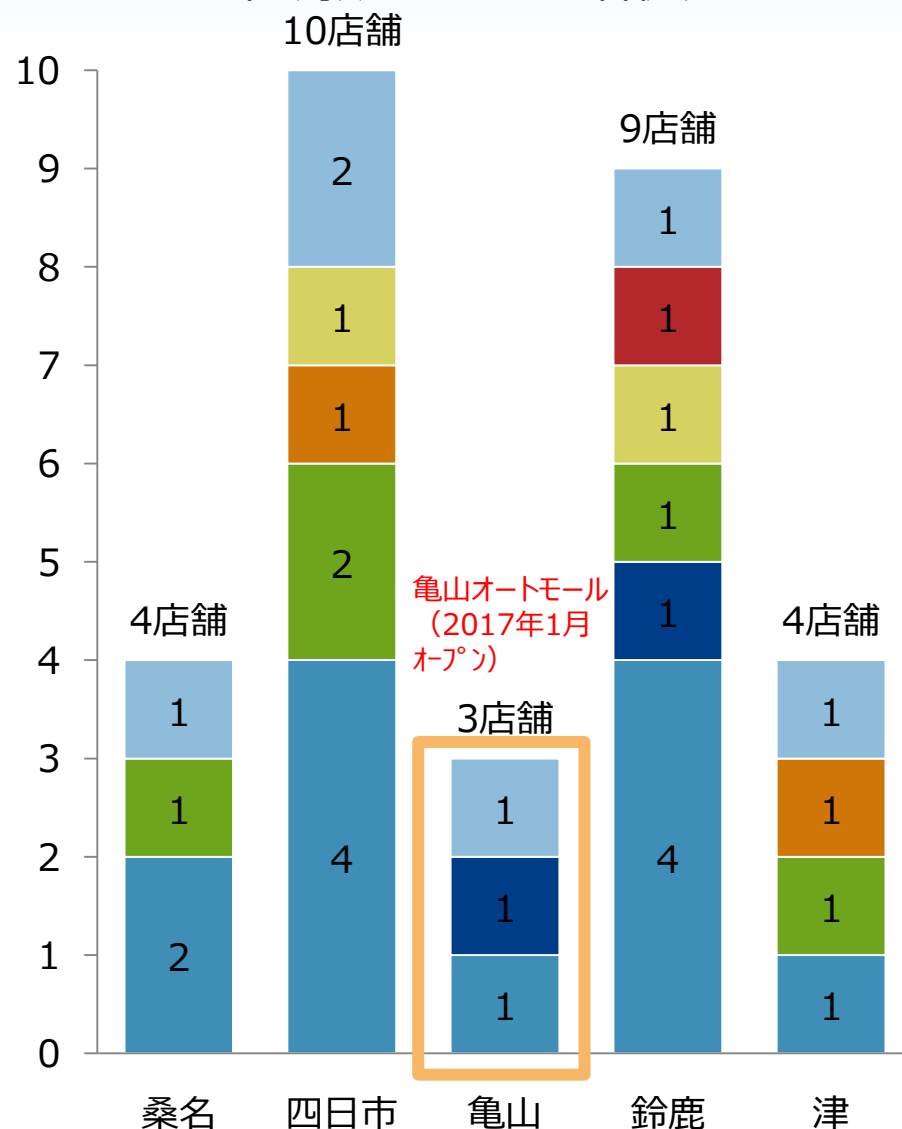
日本自動車販売協会連合会及び日本自動車輸入組合資料より当社作成

出店状況の推移とエリア別出店状況

出店状況の推移（5年間）



2017年3月期のエリア別出店状況



(単位：百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前年同期比 (%)	2017年3月期 通期計画	前年同期比 (%)
売上高	10,911	11,297	103.5	24,100	102.9
売上原価	8,805	9,255	105.1	19,635	102.7
売上総利益	2,105	2,042	97.0	4,464	104.0
販売管理費	1,818	1,792	98.6	3,793	102.3
営業利益	286	249	87.0	670	115.4
営業外損益	△17	△10	—	△50	—
経常利益	269	239	88.8	620	114.1
親会社株式 に帰属する四 半期純利益	169	157	92.9	422	127.4

事業別売上高 前年同期比／構成比

(単位：百万円)

		2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	前期年同期 比 (%)	構成比 (%)
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	3,739	4,092	109.4	36.2
	新車部門 (輸入車)	1,469	1,242	84.6	11.0
	中古車部門	3,895	4,125	105.9	36.5
	サービス部門	1,496	1,513	101.1	13.4
	合 計	10,608	10,979	103.5	97.2
自動車リサイクル事業		302	317	104.9	2.8
合 計		10,911	11,297	103.5	100.0

貸借対照表

(単位：百万円)

項 目			2016.3期	2017.3期 第 2 四半期	増減
資 産 の 部	流 動 資 産	現金及び預金	814	671	△143
		受取手形及び売掛金	290	317	27
		商品及び製品	2,634	2,643	9
		その他	252	261	9
	流動資産合計		3,990	3,892	△98
	固 定 資 産	有形固定資産	9,852	10,175	323
		無形固定資産	63	60	△3
		投資その他資産	835	903	68
	固定資産合計		10,750	11,138	388
資産合計		14,741	15,031	290	

項 目			2016.3期	2017.3期 第 2 四半期	増減
負債・純資産の部	流動負債	買掛金	1,866	1,896	30
		短期借入金	4,273	4,773	500
		未払法人税等	124	104	△20
		その他	1,277	1,449	172
		流動負債合計	7,544	8,224	680
	固定負債	長期借入金	2,056	1,594	△462
		役員退職慰労引当金	272	267	△5
		退職給付に係る負債	618	643	25
		その他	55	56	1
		固定負債合計	3,002	2,562	△440
	負 債 合 計		10,546	10,786	240
	純資産	資本金	1,161	1,161	0
		資本剰余金	1,148	1,148	0
		利益剰余金	1,799	1,852	53
		株主資本合計	4,109	4,162	53
		その他の包括利益累計額合計	△38	△44	△6
非支配株主持分		123	127	4	
純 資 産 合 計		4,194	4,244	50	
負債純資産合計			14,741	15,031	290

2017年3月期計画

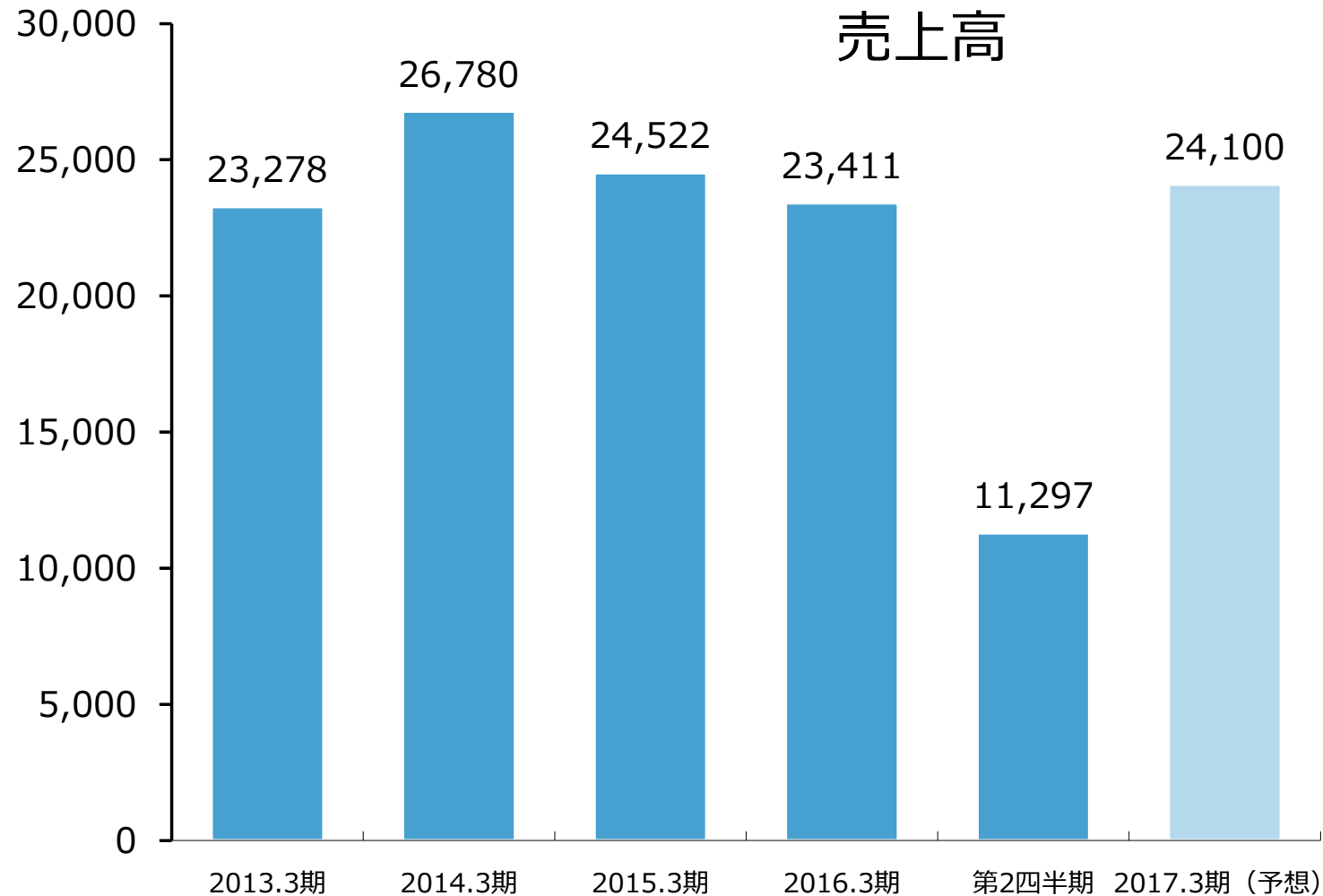
セグメント			下期の営業環境
自動車 販売関連事業	新車部門	国産車	登録車の販売は堅調に推移
		輸入車	VWの不正問題による影響が継続
	中古車部門		中古車市況は持ち直しつつあったが依然不透明
	サービス部門		車検対象数が前年同時期の数を上回る
自動車リサイクル事業			資源価格相場の低迷の影響が継続

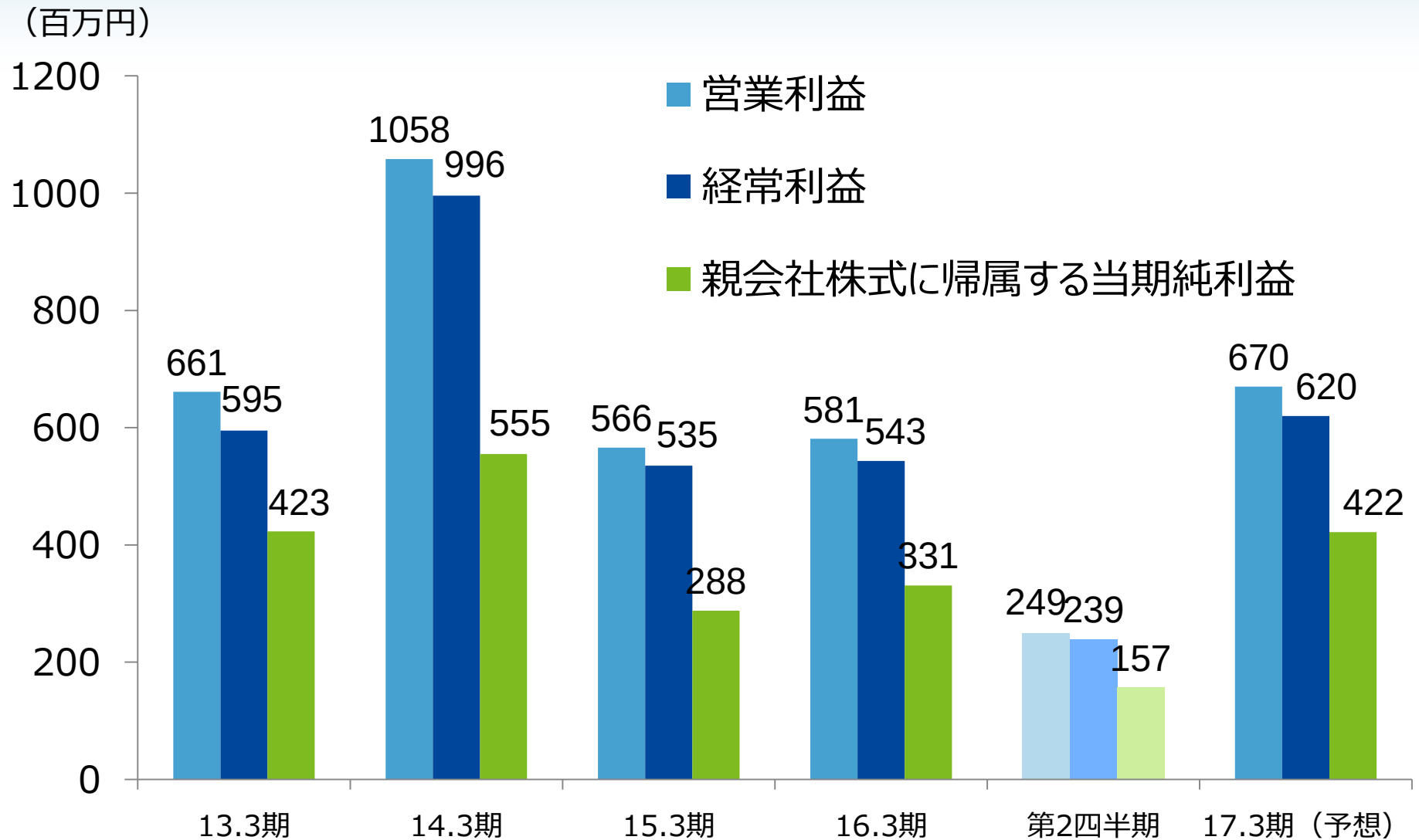
セグメント			施策
自動車販売 関連事業	新車部門	国産車	D M・チラシ、残クレ、自社コールセンターによる新車の提案強化
			オールラインナップに合わせた販売の強化
		輸入車	用品拡販を強化し、1台当たりの収益を改善
			ブランドディーラーに相応しいショールーム創り
	中古車部門		用品拡販を強化し、1台当たりの収益を改善
			保険・ローン等の販売強化
			チラシ・ネットによる新規来店誘引
	サービス部門		既存ユーザーに対する提案強化
			在庫回転率の強化
コールセンター等を活用した車検・法定12か月点検等の入庫促進			
自動車リサイクル事業			リコール対象車の回収促進
			アフターパーツへの取組強化
自動車リサイクル事業			使用済自動車の安定的確保に向けて営業活動を強化
			国内向けリユースパーツ販売の強化

(単位：百万円)

	2016年3月期実績	2017年3月期計画	前期比 (%)
売上高	23,411	24,100	102.9
売上原価	19,120	19,635	102.7
売上総利益	4,291	4,464	104.0
販売管理費	3,709	3,793	102.3
営業利益	581	670	115.4
営業外損益	△37	△50	—
経常利益	543	620	114.1
親会社株主に帰属する当期純利益	331	422	127.4

（単位：百万円）

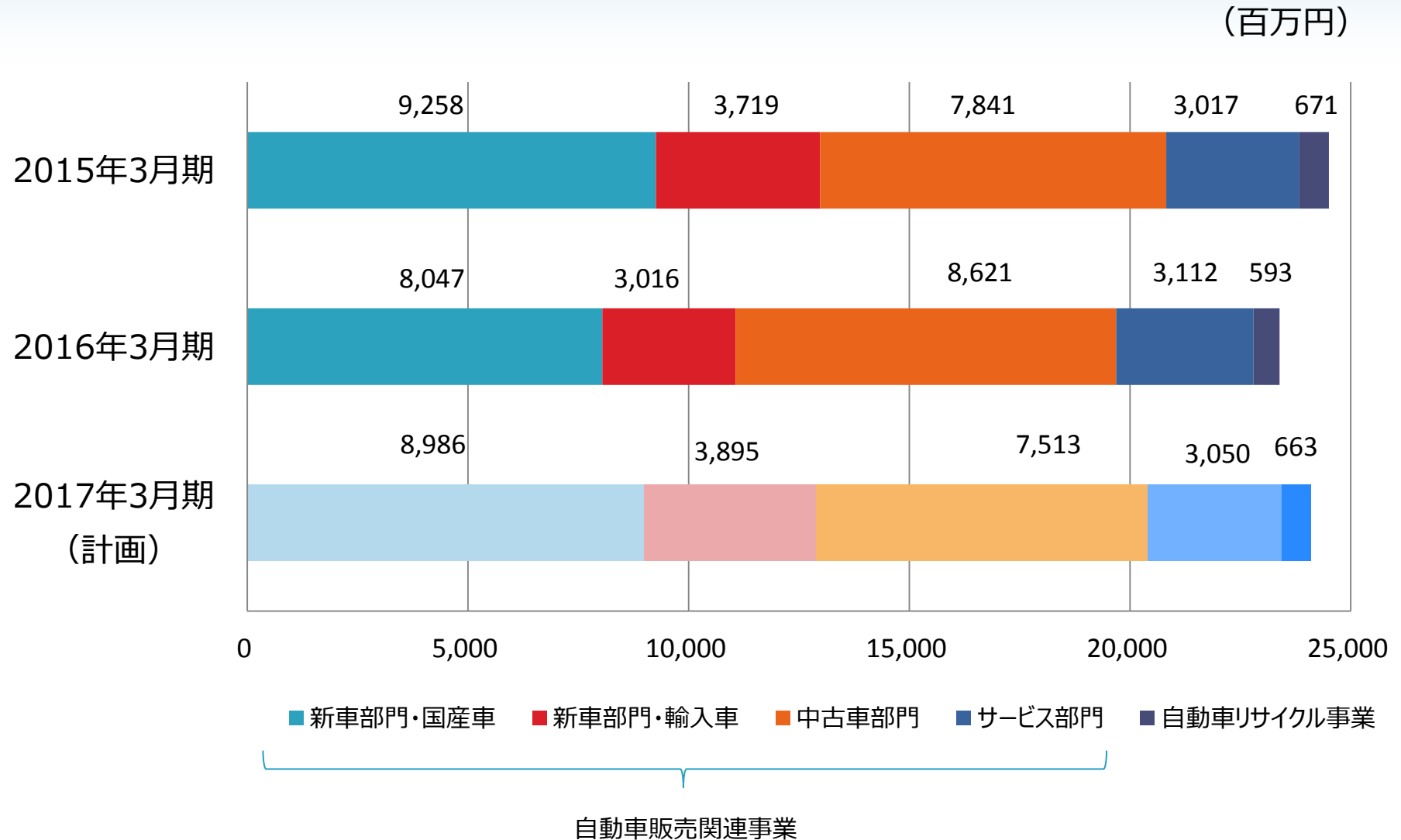




(単位：百万円)

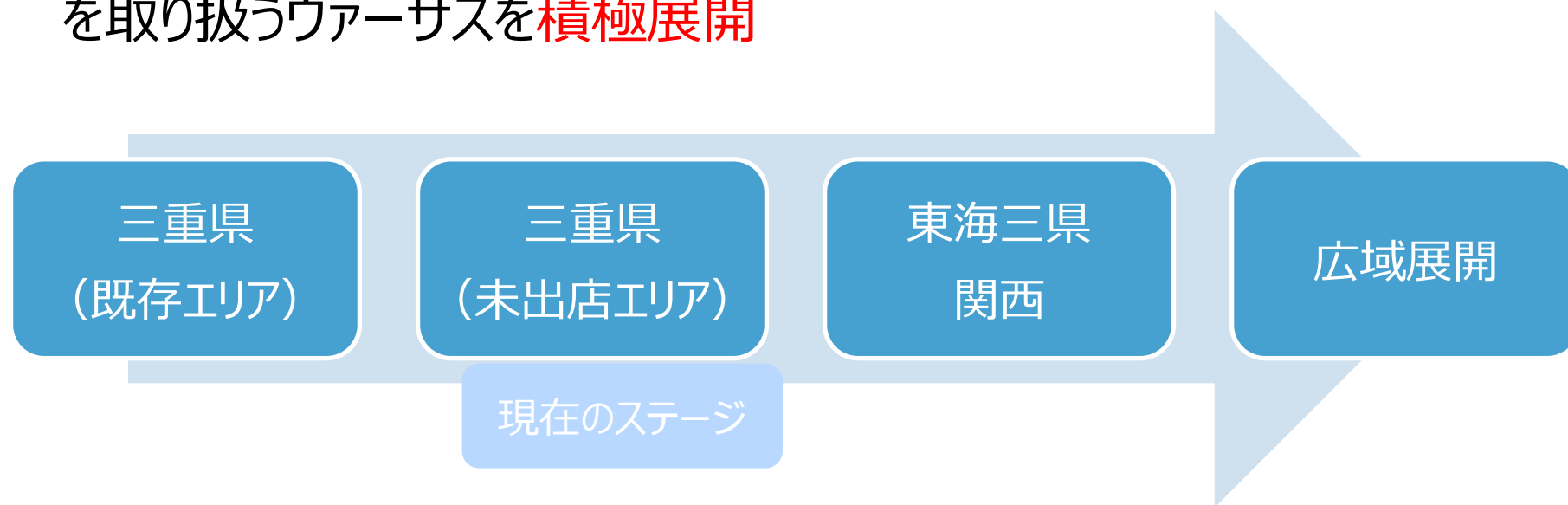
		2016年3月期 実績	2017年3月期 計画	前期比 (%)	構成比 (%)
自動車販売 関連事業	新車部門 (国産車)	8,047	8,986	111.7	37.3
	新車部門 (輸入車)	3,016	3,895	129.1	16.2
	中古車部門	8,621	7,513	87.1	31.2
	サービス部門	3,112	3,050	98.0	12.6
	合 計	22,818	23,464	102.8	97.3
自動車リサイクル事業		593	663	111.8	2.7
合 計		23,411	24,100	102.9	100.0

事業別売上高の推移（連結）と今期計画



今後の戦略

- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的には **M & A** を踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行う独自ブランド **P O I N T ⑤** 及び全メーカーを取り扱うヴァーサスを **積極展開**



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 八野モータープール（三重県鈴鹿市）が2014年3月に完成
- 自動車業界において問題となっている、**路上積み下ろしを解消**

【今後の活用方法】

- ・ P Bカー（自主企画カスタマイズカー）製作工場
- ・ グループ新車・中古車デポックスセンター



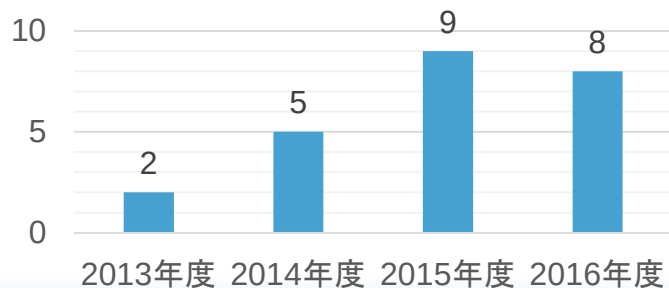
約20,000坪の敷地面積

- 業界でも珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロント・保険コンシェルジュに**女子力を活用**
- **女性目線**を活かした商談・接客・自動車整備の効率化により、ES・CSの向上を図る



今期、女子サービスフロント登用拠店は8店舗を予定

■ 女子サービスフロントの推移(人)



地域経済 11版 2014年(平成26年)7月2日(水曜日)

自動車整備に女子力

追跡 人手不足

自動車の販売店で、車検や修理を担う国家資格の自動車整備士のなり手が減っている。若者の車離れが進み、養成する専門学校への入学希望者も十年間で半減。ハイブリッド車(HV)などエコカーの普及で高度な知識を持つ整備士の需要が増える中、人手不足は深刻な課題。獲得に必死の販売店は、女性整備士の採用に活路を見いだすなど模索に乗り出した。(池内 遼)

つなぎ姿の小柄な女性が、ボルトを手際よく締めつけていく。「ホンダカース三重北鈴鹿道徳店」(三重県鈴鹿市)で働く喜多千代美さん(31)は、自動車販売店グループ「ICDAホールディングス」(同)が初めて採用した女性整備士だ。入社四年目で、毎月一百台の車検をこなす。子どものころからスポーツカーが好きで、整備士の道を選んだ。後輩の指導も抱い職場リーダーとして忙しい。「少ない応募の中から、良い整備士を採用する必要がある。女性は重要な選択だ」と、同グループは既に来年入社採用で二人目の女性整備士を内定した。

向井副社長は「整備士の人手不足は、これからも続く。女性を積極的に採用していく」。同グループは既に来年入社採用で二人目の女性整備士を内定した。

肢だったと、同社副社長の向井俊樹さん(40)は、車を修理し、安全を保証する整備士の確保は車販売業にとって死活問題。力仕事だが、喜多さんは道具を駆使し、仕事の改善にも取り組む。



人手不足の自動車整備業界で働く喜多千代美さん＝三重県鈴鹿市で

掲載日 中日新聞朝刊 (2014年7月2日) 11ページ

中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

- 三重県亀山市の約11,000坪の敷地に新店舗オープン（2017年1月）
- ホンダカーズ店・オートテラス店・POINT⑤店・大型車検センター・リユースパーツショップ
- 今後、自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致し複合施設を計画



鈴鹿で株主をおもてなし

ICDAホールディングスが優待企画



グループで扱う車両計21台を用意した

走行型は、どう
も注意を要する走行
格好で、コースス
ターの運転による
先導車両の後ろを
一列上り走行す
る。ヘアピンクレー
プや裏ストレート
、1・300など
5・8kmほどの区間
レーシングコース
をルに使い、1
セッション3周を
計3回実施した。
第2回セッショ
ンでは、株主ら
が持ち込む車両
によってカーラ

ンでスポティカのほうか、BOXやセダといった高級車と比べるとかなり低価格なクルマの参入がほとんどです。またマールによりコースレイトを事実上確認した、続く第2、第3セッションでは、ICD Aグループが用車は全車両より走行を行った。この日用意した車両は、5台のSi6「60」のほか、「レンジローバー」「ステッパゴン」と「ジャトル」などのボクらのフルラインアップで計15台のことか。「911」や「マツラノ」といったボルシエ、アムスワグンとアディモをそれぞれ2台、乗車希望者を投票し、多数の場合には

で、一生の思い出になることと感謝を語った。

また、主催者であるOCD、Aホールディングスでは、フルレプ全体で株主におおわてなす日。参加希望者も増えた。我々もスタッツとて動き、株主とともに華々日として今後も続ける」(向井弘光氏に聞いて)

同ホールディングスは、2003年6月にJASDAQに上場。その後、同月に名称を2部。そして昨年6月に東証1部の企業に、市場変更して上場後の株優待の環として行ってきた。来年も株主総会、同日の開催を予定している。

【津】ホンダ四輪販売三重北を核とするICDホーリングスが25日、株主総会と「マカロン」を鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催した。国際レシティングコースを株主が持ち込む車両などで走行する企画で、昨年に続いて今回も開催になった。同日サーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する「鬼燈企画」として実施しているの、今回は前回の40人を上回る46人が参加した。株主の「マカロン」なる走行のイベントのほか、同グループで取り扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主らは各自ハンドドルを操縦の国際的なコースでの走行を楽しんだ。

サーキット走行を楽しむ

『この企画は今回初めて知り参加した。学生の頃F1レースを観に来たが、そのコースを自分で運転できるとは想像すらしたこともなかった。今回は素晴らしい体験ができ、一生の思い出になるだろう。』
(男性40代)



当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース（5.8Km）を使用いたしまして、先導車兩付きマイカーランを実施させていただきます。

当社グループ取扱車種（※1）もご用意致しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。是非、この機会に、ふるってご参加ください。

(※1) 当社グループ取扱車種については、抽選となりますので、第1希望・第2希望・第3希望を申込み用紙にご記の上、お申込み下さい。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2016年6月22日(木)

【スケジュール】

受付時間 13:30 チームオフィス (詳細は、株主総会終了後にご案内いたします。)

ブリーフィング 14:00 ブリーフィングルーム（走行に関する事前説明会）

進行時間 15:00~16:00

【会費】 無料

【申込方法】
本用紙の裏面に記載の注意事項、誓約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先まで
FAXにてお申込み下さいませ。 ご記入頂いたご連絡先電話番号に、当社よりご連絡致します。

【申込先】ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX/059-384-2881

【申込期限】 2016年6月15日(水) 20:00 まで

【問い合わせ】

申込に関するお問い合わせ先
LCDAホールディングス株式会社 総務課 TEL: 059-381-5540

※行金に関するお問い合わせ先

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当：川畑
TEL：059-378-1300（平日／9：00～17：00）



掲載日 日刊自動車新聞朝刊（2015年7月3日）

日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

鈴鹿サーキットマイカーラン走行会

【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

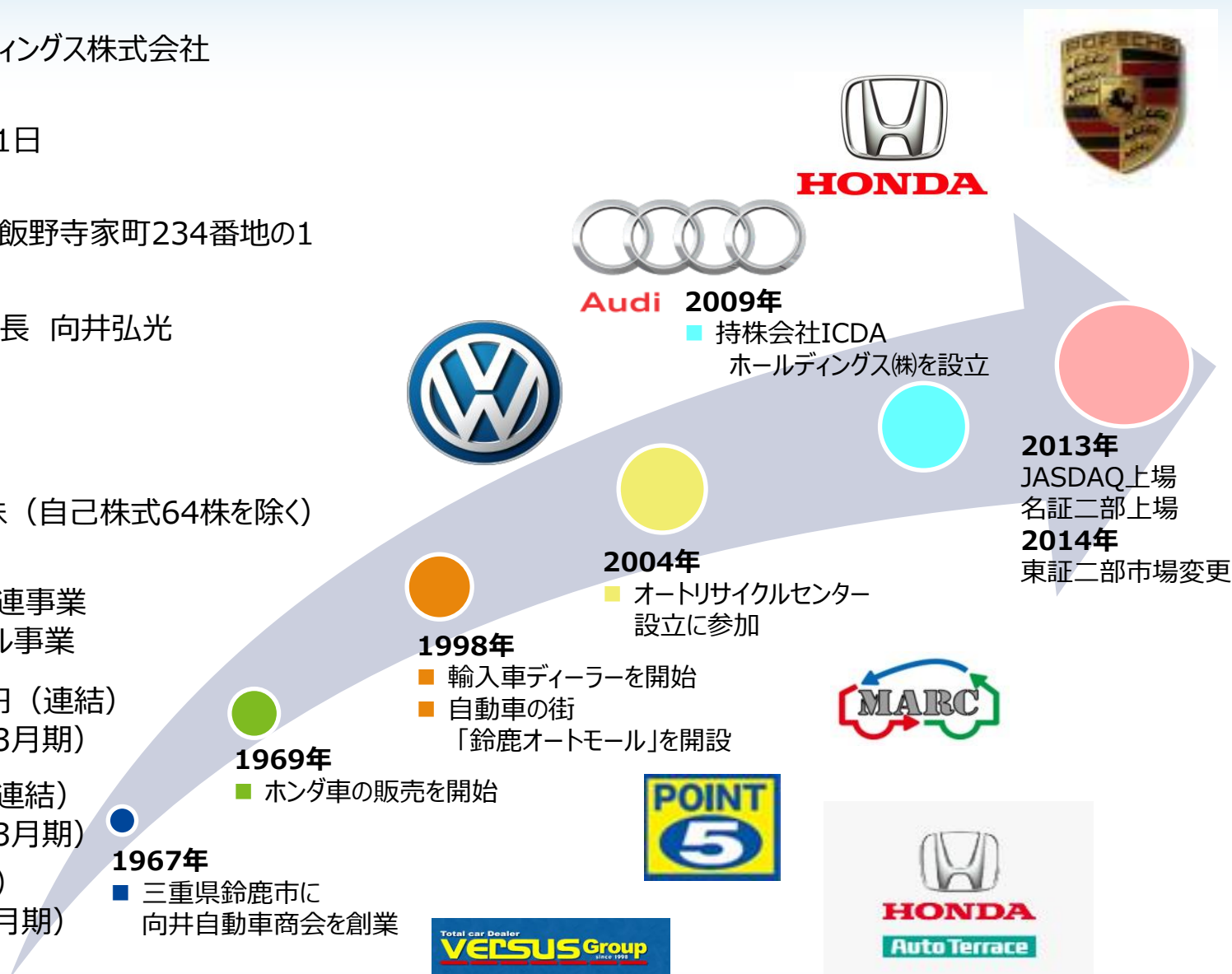
2017年3月期 配当金予想

	配当性向（連結）	1株当たり配当金
2015年3月期	36.4%	50円
2016年3月期	31.6%	50円
2017年3月期（予想）	24.8%	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。

参考資料

社名	ICDAホールディングス株式会社
設立	2009年10月1日
本社	三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1
代表者	代表取締役社長 向井弘光
資本金	1,161百万円
発行済株式総数	2,099,936株（自己株式64株を除く）
事業内容	自動車販売関連事業 自動車リサイクル事業
売上高	23,411百万円（連結） （2016年3月期）
経常利益	543百万円（連結） （2016年3月期）
従業員数	343名（連結） （2016年3月期）



三重県の地域別推計人口と店舗数（2016年12月現在）

地 域 名	人口比率 (%)	店舗数	範 囲
桑名	12.0	4	桑名市・いなべ市・桑名郡・員弁郡
四日市	20.8	10	四日市市・三重郡
鈴鹿・亀山	13.6	12	鈴鹿市・亀山市
津	15.6	4	津市
松阪	11.6	—	松阪市・多気郡
伊勢	13.3	—	伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡
伊賀	9.3	—	名張市・伊賀市
尾鷲	1.9	—	尾鷲市・北牟婁郡
熊野	2.0	—	熊野市・南牟婁郡
合計	100.0	30	

出店済エリア

未出店エリア

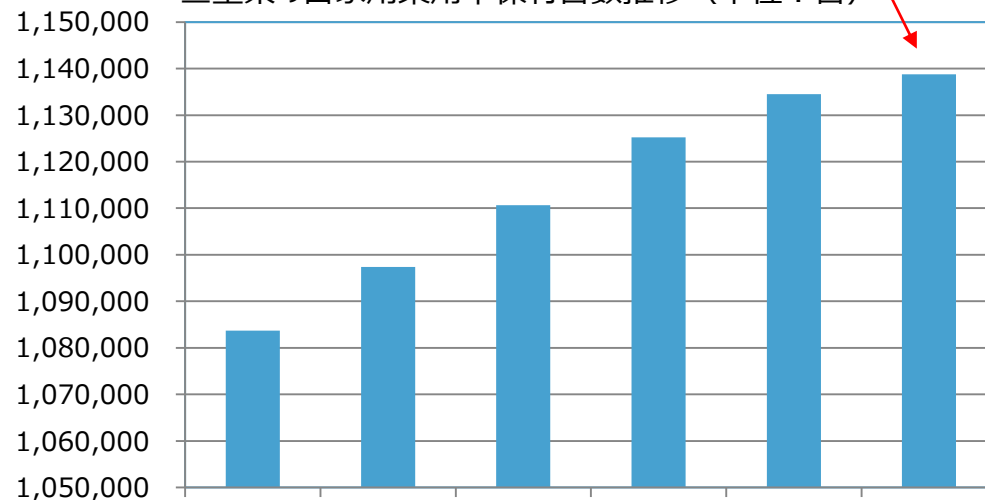
出所：三重県公式HP 2016年4月1日現在、「三重県年齢別人口調査結果」より当社作成

東海三県の自家用乗用車（※）の普及台数及び保有台数（2016年3月末）

県 名	普及台数/世帯 (台)	全国順位	保有台数 (台)	全国順位
愛知	1.288	27位	4,085,701	1位
岐阜	1.596	7位	1,283,308	17位
三重	1.464	14位	1,138,776	20位

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会
「自家用自動車の世帯当たり普及台数」より当社作成

三重県の自家用乗用車保有台数推移（単位：台）



11年3月末 12年3月末 13年3月末 14年3月末 15年3月末 16年3月末
出所：（社）日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

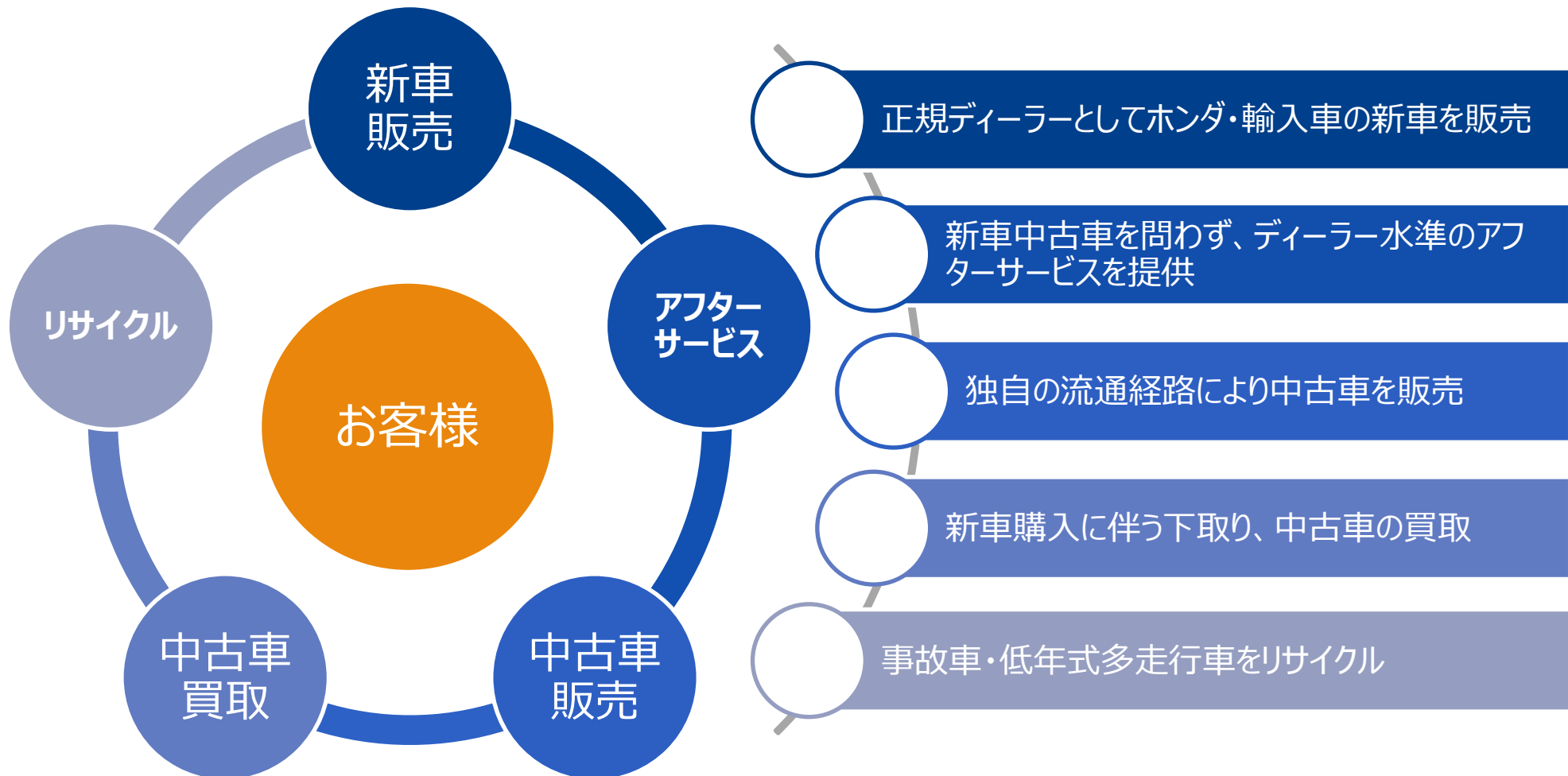
（※）自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

- 様々な価格帯の自動車を取り扱うことで、幅広い顧客層にお車を提供することが可能

★はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数台保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向の広領域ユーザー	
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	中
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車が中心	低

- 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

①収益機会の増加

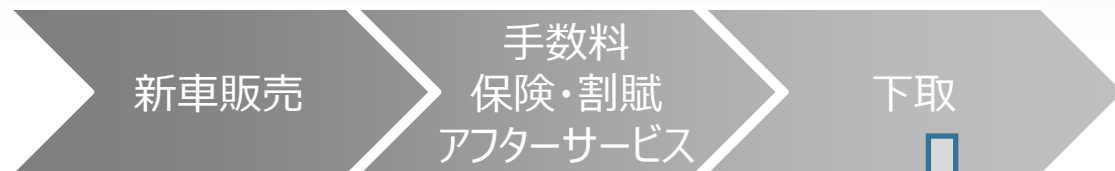
②独自の中古車流通

③リユースパーツの活用

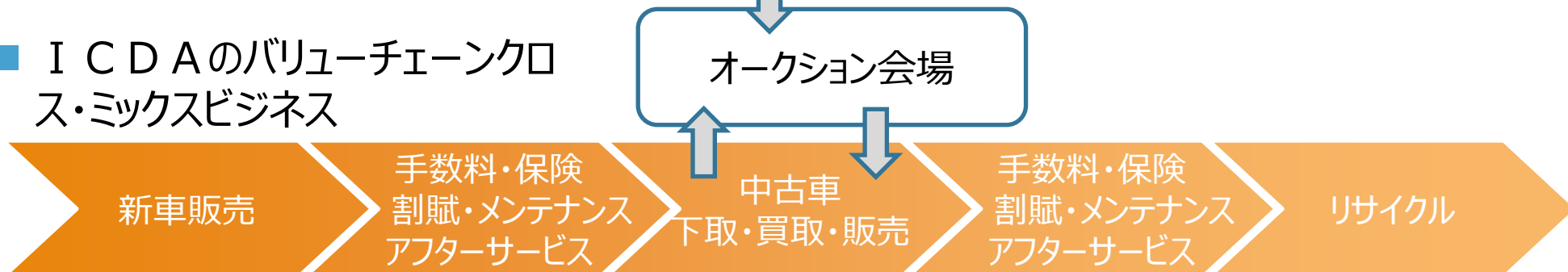
④店舗開発ノウハウ

① 収益機会の増加

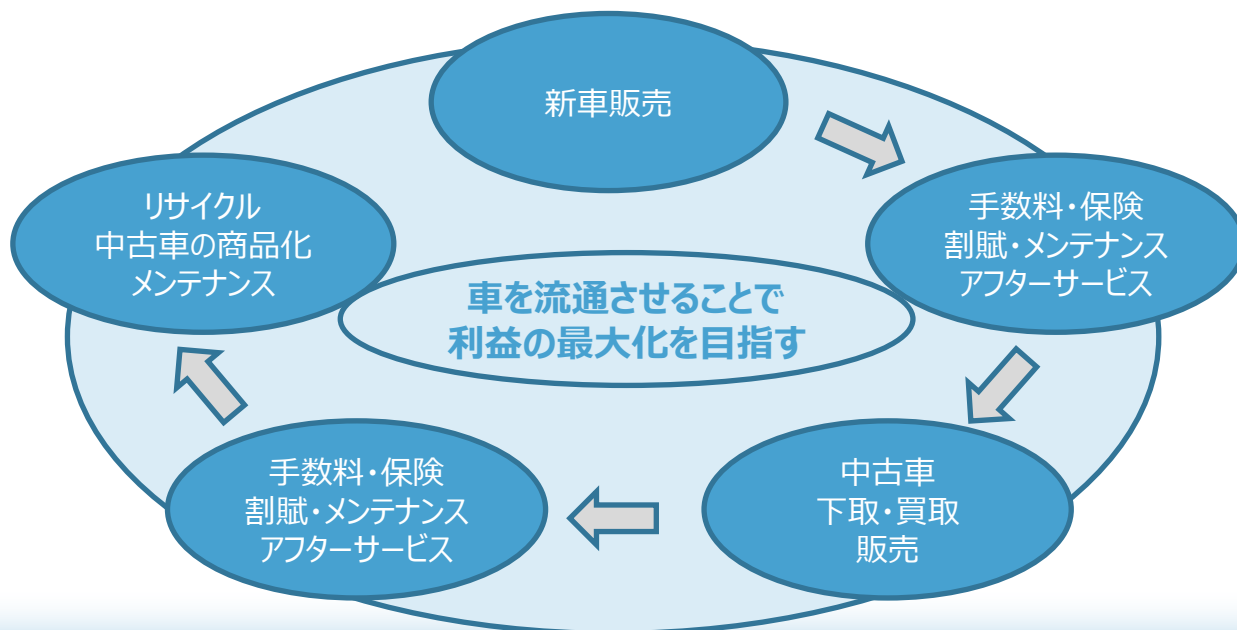
■ 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネス



■ ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス



■ 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車が流通する際の**収益機会が増加**



②独自の中古車流通（グループ内流通でバリューを追求）

ICDAホールディングス

- 車の種類・状態等に合わせ、グループ内で効率よく流通

POINT⑤と鈴鹿オートリサイクルセンターを保有することで、車を売りやすい仕組みを構築



潤沢な中古車の確保が可能



③リユースパーツの活用（顧客満足度の向上）

- 品質の高いリユースパーツを提案
- 低コストでの修理が可能となり顧客満足度が向上



- 複数のブランドを組み合わせることでマーケットに合わせた店舗展開が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することでターゲット層が拡大し、集客力が向上

(Ⅰ) 複合型店舗

- 新車ディーラーを核とした複合型
- 幅広いターゲットに対応

(Ⅱ) 小規模併設店舗

- POINT⑤と組合せた出店
- 低コストのオペレーション

(Ⅲ) 隣接型店舗

- 商業施設との共同開発
- ファミリー層に対応

自動車リサイクルの工程について



①車両引取り

- 輸送会社と提携
- 早期の集荷作業



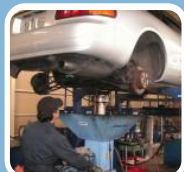
②車両保管ヤード

- 800台の平置きが可能な敷地
- 重ね置きしない丁寧な保管



③前処理棟

- リサイクル法を遵守した作業
- フロンガス回収・エアバック車上破壊



④液抜き棟

- 燃料・オイル類・ラジエーター液の回収



⑤⑥反転機

- エンジン・足廻り部品の取り外し



⑦ライン作業場

- 1台の車両に対し2名で作業
- 丁寧な「手バラシ」解体



⑧EPリフト作業場

- 中古部品生産の専用リフト
- 質の高い商品を生産



⑩300トンのプレス

- スクラップボディのプレス
- 70cm×70cm×70cmの形にプレス



プレス出荷

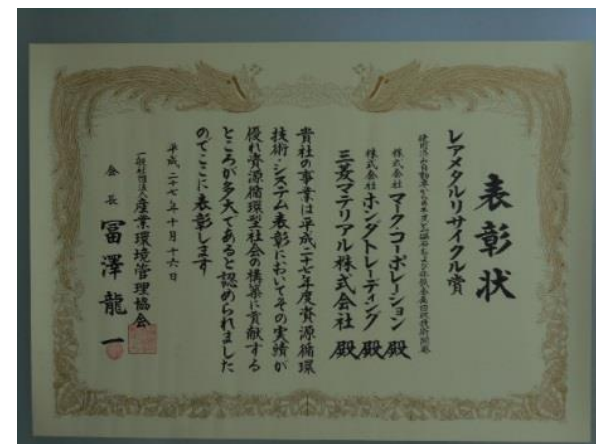
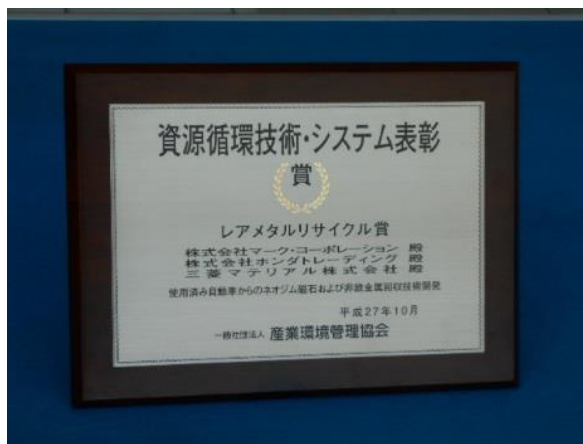
- 鉄鋼メーカーに出荷



国内行き中古部品

- 1万点の在庫保管スペース
- バーコード管理された在庫

- 当社グループの(株)マーク・コーポレーションの次世代事業が、一般社団法人産業環境管理協会主催の「資源循環技術・システム表彰」にて「レアメタルリサイクル賞」を受賞しました。
- 三菱マテリアル(株)様と(株)ホンダトレーディング様と(株)マーク・コーポレーションの3社で共同で実施したNEDO事業「使用済み自動車からのネオジム磁石および非鉄金属回収技術開発」が評価され、この度の受賞となりました。



本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
I C D Aホールディングス株式会社

International Conglomerate of Distribution for Automobile

管理部総務課

TEL 059-381-5540

FAX 059-384-2881

URL <http://www.icda.jp/>